令和6年 月 日

第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書
（資金調達者部門）

|  |
| --- |
| 以下の「個人情報の取り扱いについての確認事項」に同意の上、御応募をお願い致します。【個人情報の取り扱いについての確認事項】1. 御記入いただいた個人情報は、当社の「個人情報保護方針」（https://www.murc.jp/corporate/privacy/）及び、「個人情報の取り扱いについて」（https://www.murc.jp/privacy/）に従って適切に取り扱います。
2. お預かりした個人情報は、当社において、本表彰制度の運営及び本表彰制度に関する御連絡、今後の関連イベントのご案内、表彰制度企画の参考の目的に限って利用し、厳重に管理いたします。
3. お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。ただし、当社業務の委託元である環境省とは共有させて頂きます。
4. お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
5. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知の御請求、又は個人情報に関する苦情のお申し出、その他のお問合せにつきましては、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先（事務局）】ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社　サステナブルビジネス戦略センター担当：正垣、小豆島、奥野E-mail：esgf-award-kinyu@murc.jpTel：03-6733-4957 （祝日を除く月～金の 10:00～17:00） |

1. 応募する取組等の名称

※　取組の内容を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名（日本語） |  |
| 企業・団体名（英語） |  |
| 直近年度決算期 | 　　　年　　月 |
| 期末従業員数 |  |
| 総資産（百万円） |  |
| 直近年度売上高（百万円） |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属部署 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

1. 希望する応募方式

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 一般応募 |
| □ | 簡易応募（特別賞・テーマ別賞のみを目指す方向け） |

* 一般応募を選択した場合は、自動的に特別賞・テーマ別賞の審査対象にも含まれます。
* 簡易応募の場合は、「４．基本的事項の確認」に回答した後、5．を省略し、「６．簡易応募」の項目へ進んでください。
1. 基本的事項の確認
2. 自社・自団体および子会社等において、法令違反や重大な懸念事項を有していないことを確認していますか。
※前年度、今年度において、監督官庁による行政処分を受けていないこと。また、法令違反や重大な懸念事項が生じていないことが応募要件です。詳細は募集要項の6.（2）応募対象・資格をご確認ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 確認している | □ | 確認していない |

※なお、応募申請書提出後に上記に該当する事案が発生した場合は、すみやかに事務局までご申告ください。

1. 財務の健全性確保や、法令違反や重大な懸念事項を回避するためのガバナンス体制を構築していますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 構築している | □ | 構築していない |

構築している場合は、そのガバナンス体制について記載してください。

※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

1. 取組内容

|  |
| --- |
| **＜一般応募用です＞*** 募集要項に記載の「表彰対象となる取組の概要」を踏まえて、応募する取組内容について記載してください。
* 応募内容は、”E”（環境）を中心に記載をお願いいたします。全体で10～15枚以内としてください。
* レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（URL、レポート名・ページ番号等）の記載のみで構いません。
 |

【目標・戦略・フレームワーク】

1. 資金調達を行うにあたり、資金使途の対象となる事業や設定した中/長期の目標等に関連する環境課題等が資金調達者の戦略、長期ビジョン等にどのように位置づけられているか、自社のインパクト戦略（環境・社会・経済に対しどのようなポジティブインパクトを発現・増大していくのかという狙い）を策定されているか、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 資金調達に関するフレームワーク等があればその内容について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 資金使途の対象となる事業等により実践される取組が継続されるための実効性のある取組計画が策定されているか、また仕組みや体制づくり、ステークホルダーとの連携について、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ③を踏まえ、設定した目標や取組計画に対する進捗状況について記載してください。また、それらを開示している場合は、開示先について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 第６次環境基本計画（注）を踏まえ、資金調達が、気候変動対策、循環経済、ネイチャーポジティブ等の実現に資する投融資の拡大に寄与していると考える点があれば、その内容を記載してください。加えて、気候変動対策、循環経済、ネイチャーポジティブの同時達成に向けた統合的な取組かどうかについても、記載してください。
（注）第6次環境基本計画については、こちら（<https://www.env.go.jp/council/02policy/41124_00012.html>）をご参照ください。

|  |
| --- |
|  |

1. 第６次環境基本計画を踏まえ、資金調達が、支援の必要な中堅・中小企業に対し、サステナビリティ経営の支援や普及啓発につながると考える場合は、その内容を記載してください。又は、資金調達が、将来にわたって「ウェルビーイング／高い生活の質」をもたらすようなESG投資・金融の拡大に寄与すると考える場合は、その内容を記載してください。（CSRを超えてビジネスとして取り組んでいる場合のみに限定します）

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 対象事業・プロジェクト及び設定した中/長期目標に対する進捗状況及びインパクトについて開示している箇所を具体的に記載してください。また、その更新頻度についても記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目１ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目２ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

1. 設定した中/長期目標や計画の進捗についてどのようにモニタリングをしているか、また、目標や計画と進捗に差異がある場合の対応方針を定めているか記載してください。加えて、その方針について開示している箇所を具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| モニタリング方法・差異がある場合の対応 |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

1. 今回の資金調達を含む投資計画について開示している箇所を具体的に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

【体制・実績】

1. 申請した事例により調達した金額及び長期借入金と社債残高の合計に占める割合を記載してください。
（対象事例の金額が占める長期借入金と社債残高の合計値に対する割合で評価を行います。）

|  |  |
| --- | --- |
| 調達額（注１） |  |
| 長期借入金と社債残高の合計（注２） |  |
| 調達額が長期借入金と社債残高の合計に占める割合 |  |

（注１）複数事例が対象となる場合は、その合計額と個別事例ごとの金額をそれぞれ記載してください。

（注２）対象事例により資金調達した年/年度の額を記載してください。複数事例の場合はそれぞれの対象年で記載してください。

1. ESG金融の普及促進・ポジティブインパクト創出に向けたステークホルダー・エンゲージメントを組織として行っていますか。（例：政策提言や政府への働きかけ（アドボカシー）、鍵となる地域の関係者の巻き込みや協働）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 行っている | □ | 行っていない |

“行っている”場合は、その内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG金融やインパクトファイナンス実践のために、組織内の人材開発を行っていますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 行っている | □ | 行っていない |

“行っている”場合は、その内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

どちらの場合も、以下のアンケートにご協力ください（評価対象外）。

a. ESG金融やインパクトファイナンス実践にあたり、人材開発にどのように取り組んでいますか（複数回答可）

□新卒採用

□中途採用

□育成

□外部連携・人材交流（一時的な増強）

□配置転換・異動

□資格取得支援（脱炭素アドバイザー資格等）

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□行っていない

b. ESG人材開発の内容（最も力を入れているものを1つ）

□脱炭素への移行、循環経済への移行、自然再興への取組等「個別分野の専門人材」

□ESGやSDGsに関するビジョンの作成、取組検討を推進する社内の「リーダー人材」

□事業者や自治体等との対話や関係者の巻き込みを行う「コーディネート人材」

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□行っていない

c.人材が求められる個別分野（最も求めている分野を1つ）

□気候変動

□自然・生物多様性

□サーキュラーエコノミー

□人権

□人的資本

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

d. ESG人材開発における主な課題（複数回答可）

□中途採用が困難

□育成を担う人材の不足

□利用可能な研修材料や資格等の不足

□コスト

□社内の理解

□ビジネス需要が不十分

□社外との連携が困難

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【インパクト】

1. 申請した事例により創出されると想定される/創出されたインパクト、あるいは設定した目標について具体的に記載してください。インパクトに関しては、本資金調達による追加性（アディショナリティ、もしその事業が行われなければ生じなかったポジティブなインパクト、環境改善効果等）についても記載してください。
（可能であれば、業界レベルにおいてどのような位置づけになるかを明記してください。）

|  |
| --- |
|  |

1. 上記で記載いただいた以外の環境・社会に重大なネガティブインパクトを与えるものではないことの確認を実施していますか。実施している場合、実施している方法を記載してください。また、重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応策について定め、開示している場合には記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. 調達資金の使途や、資金調達のフレームワークやスキームに関する新規性や独自性について記載してください。また、その新規性や独自性がどのようにESG金融の拡大に寄与しているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることに繋がるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |

【特別賞へのPR】

* **特別賞の審査を希望される場合は、記載した取組内容が**該当する（取組内容が先進的あるいは特徴的である、企業規模に照らして優れた取組である）と考えるポイントを200字以内で記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【テーマ別賞へのPR】

* **テーマ別賞（カーボンニュートラル賞、ネイチャーポジティブ賞、サーキュラーエコノミー賞）の審査を希望される場合は**、**記載した取組内容が**該当すると考えるポイントを200字以内で記載してください。
※テーマ別賞の「選定の視点」は、募集要項7.（4）③を御覧ください。
※カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーのいずれの観点での記載か、明記してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 簡易応募

**特別賞・テーマ別賞のみに応募される場合**は、以下をご記入ください（一般応募の場合は既に記載の事項と重複しますので回答不要です）。

【特別賞へのPR】

* **特別賞の審査を希望される場合は、**(a)取組の内容、(b)それが特別賞に該当する（取組内容が先進的あるいは特徴的である、企業規模に照らして優れた取組である）と考えるポイントを、**可能な限り定量的な情報（ケーススタディ、既に実現したインパクト及び/又は将来的に期待されるインパクトの情報等）を交えて**、600字以内で記載してください。

|  |
| --- |
| (a)取組内容：(b)ポイント： |

【テーマ別賞へのPR】

* **テーマ別賞（カーボンニュートラル賞、ネイチャーポジティブ賞、サーキュラーエコノミー賞）の審査を希望される場合は**、(a)取組の内容、(b)それがテーマ別賞に該当すると考えるポイントを、**可能な限り定量的な情報（ケーススタディ、既に実現したインパクト及び/又は将来的に期待されるインパクトの情報等）を交えて**、600字以内で記載してください。
※テーマ別賞の「選定の視点」は、募集要項７.（４）③を御覧ください。
※カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーのいずれの観点での記載か、明記してください。

|  |
| --- |
| (a)取組内容：(b)ポイント： |

【透明性】

応募された取組に関する情報を開示されていますか。あれば、その情報開示箇所（レポート名とページ番号、URL等）を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【体制】

①応募された取組に関する経営層のコミットメントがありますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | ある | □ | 明示的なものはない |

ある場合、どのようにコミットメントしているかを以下に記載してください。

※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

②応募された取組を実行するための体制について、ご記載ください。

※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

【インパクト】

③前掲の「ポイント」で書ききれなかった事項があれば、追加で記載してください。なお、募集要項７．（３）の審査基準を参考にしてください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

④前掲の「ポイント」で書ききれなかった事項があれば、追加で記載してください。なお、募集要項７．（３）の審査基準を参考にしてください。

|  |
| --- |
|  |